

田村のりひさは、10回の当選を経て厚生労働大臣を2回務めました。
現在は自民党政調会長代行として、高市早苗総裁のもと、
強く豊かな日本を目指し全力を尽くしています。

田村のりひさ6つの約束

1 安心できる医療・介護・福祉のため 大幅な報酬改定を全力で推進

厳しい経営が続いている病院などの医療機関や、介護・福祉施設について、経営環境の改善は長年福祉分野に携わってきた田村のりひさにとって喫緊の課題であり、同時に大きな使命です。大幅な報酬改定を全力で進め、安心できる持続可能な医療・介護・福祉のしくみを作りあげます。



2 子どもたちの貧困をなくすために、 経済的な自立へ後押しを実現

子どもの貧困対策推進議員連盟会長として、貧困解消に向け全力を尽くしてきました。これからもひとり親家庭など様々な困難を抱える世帯の経済的支援などの仕組みをつくり上げ、子どもの貧困ゼロを目指します。

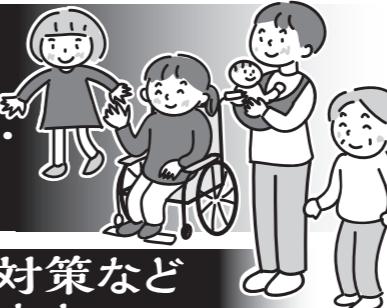
3 一次産業は成長産業

三重は一次産業の宝庫です。農業、林業、水産業の成長産業化を進め、地方を豊かにていきます。



4 強い外交、安全保障、災害対策など 万全の対策をすすめていきます

日本を取り巻く安全保障環境が厳しくなっていく中、抑止力を高め、安心して暮らせる強い日本づくりを進めます。また、経済安全保障を強化します。懸念される巨大災害に向けて万全の対策を講じるとともに、国土強靭化をすすめ、いざという時の支援体制を構築し、安心して暮らせる日本を実現します。



5 ガソリン値下げを実行しました。 さらに物価対策と成長戦略に力を尽くします

田村のりひさは、自民党政務調査会会长代行として、ガソリン暫定税率の廃止や、電気・ガス代引き下げなど物価抑制も実現してきました。また、所得税減税も始まりました。成長あっての医療・福祉政策です。さらに17分野に重点投資を進め、成長戦略を具体化し、物価を上回る所得増加を実現していきます。

6 食品の消費税のゼロ実現など、 経済の安定に全力を尽くします

高市総裁のリーダーシップの下、食料品の消費税減税実現に向かっての国民会議での検討が行われます。田村のりひさは、金利、物価の動向に配慮し、財源を確保しつつ、国民会議の自民党の実務責任者として国民生活のため働きます。



自民党

田
た
む
村
む
ら
の
り
ひ
さ

61歳

昭和39年松阪市生まれ
平成8年10月衆議院議員初
当選以来10期当選。

【現職を含む経歴】

厚生労働大臣／働き方改革担当大臣／総務副大臣／衆議院厚労委員会長／自由民主党社会保障制度調査会長／自由民主党政調会長代行／子どもの貧困対策推進議連会長／眼科医療政策推進議連会長／国民歯科問題議連会長／在宅医療推進議連会長／自民党生活衛生議連会長／自由民主党全国保育関係議連会長／漢方推進議員連盟会長